

2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2018年12月18日(火)18:00～18:47

場所：聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、鶴若 麻理、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子、青木 美紀子、大久保 暢子、川上 千春、
小山田 恭子、中田 諭、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江 眞知恵

欠席委員：小野 若菜子、松井 陽、三森 寧子、木下 康仁、神里 彩子
(出席者 14人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 齋藤 あや (看護学研究科 助教)

「日米小児科学会予防接種プロジェクト作成教材を用いた標準化教育の効果」

研究責任者(齋藤氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:継続審査について

① 審査番号 17-A086:奥 裕美 (看護教育学 准教授)

「看護師が患者を持ち上げる・抱えるケアの実際と腰痛等の発生に関する調査」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
18-A055	就業後に注意欠如・多動症と診断された人が情報を得て共同意思決定の手法で治療方針を検討するプロセス-治療選択の手引きの有用性の検討	精神看護学	博士	青木 裕見
18-A052	北海道における道央圏外の病院の看護管理者の継続学習の実態とニーズ	看護管理学	博士	矢野 祐美子
18-A053	出産後早期に特別養子縁組制度を利用した女性が語る、子どもを産み、養親に託すという体験	助産学	修士	星野 円花
18-A054	経膈分娩希望の骨盤位の妊婦を助産所助産師はどのように支援しているのか	助産学	修士	久保田 美樹
18-A056	慢性疾患患者の自己管理継続支援のためのウェブアプリケーションの開発	看護情報学	助教	米倉 佑貴
18-A057	医療系大学学生のライティング支援サービスの利用と要望	基盤領域	教授	井上 麻未
18-A058	周術期等口腔機能管理料の改訂に伴う術前麻酔科外来での歯科受診と周術期専門的口腔衛生処置の潜在的必要の変化	周麻酔期看護学	修士	梅野 佑紀
18-A059	多職種のコンセンサスに基づいた麻酔危機管理のためのCognitive Aidの段階的开发	周麻酔期看護学	修士	鈴木 明規

18-A060	急性期病院の小児領域における在宅看護専門職としての役割～両親が障がいを抱えたわが子の育児を引き受けていくプロセスとその支援の分析から～	在宅看護学	修士	石井 奈三
18-A061	兄姉となる子どもを対象とした出産準備クラスの実施状況に関する検討	助産学	修士	丸山 佳穂
18-A063	Burns による人工呼吸器離脱アセスメントプログラム(BWAP:Burns Wean Assessment Program)に関するICU 医師・看護師を対象としたインタビュー調査	成人看護学	博士	木村 理加
18-A064	未就学児育児中の看護師のワーク・ファミリー・コンフリクトへの対処行動とアウトカムの関連	公衆衛生看護学	博士	宇井 秋子
18-A065	妊婦の妊娠後期から産褥早期の唾液オキシトシン値の変化と産後疲労感とマタニティブルーズとの関連	助産学	博士	宍戸 恵理
18-A068	新人看護師の定着に関連する要因を探索するコホート研究	看護教育学	教授	小山田 恭子
18-A070	3 歳未満小児における重症度指標としての Pediatric Assessment Triangle の信頼性の検討ーPAT による評価とバイタルサインの関連についてー	小児看護学	修士課程	青木 悠

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	17-A100	河南省慢性心不全患者のヘルスリテラシーと生活の質の関連	国際看護学	修士	張 俊華
変更申請	17-A102	大学生の海外経験による自己の認識変容	国際連携センター	事務員	中島 薫
変更申請	18-A004	海外留学プログラムの学生の教育評価に関する研究	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ
変更申請	18-A008	周産期母子医療センターにおける特別養子縁組への支援の現状	看護学研究科	修士	青山 さやか
変更申請	18-A012	救命救急センター看護師の意識のある患者への自立促進の視点をもつケアの判断と実際	急性期看護学	修士	木戸 蓉子
変更申請	18-A014	学修の過程で看護を学ぶことの「面白さ」を感じた経験	看護教育学	修士	紀ノ岡 浩美
変更申請	18-A019	大学生の海外経験による自己の認識変容を促進する効果的なメタ認知支援方法の検討	国際連携センター	事務員	中島 薫
変更申請	18-A028	反復中絶を経験した女性に対する中絶ケアの現状	助産学	修士	関野 奈津美
変更申請	18-A036	香川県における2型糖尿病有病者の食生活	看護学研究科	修士	亀山 未来
変更申請	18-A044	看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験	看護技術学・ニューロサイエンス看護学	修士	武田 希帆子
変更申請	18-A045	事業化における産業保健師の技術	公衆衛生看護学	修士	石川 りさ子

変更申請	18-A050	医療的ケア児に対する在宅療養移行期の支援体制 ～行政保健師に焦点を当てて～	公衆衛生看護学	修士	小池 千咲
終了報告	16-A076	仕事復帰後の母乳育児継続を目的とした出産後の女性に対するプログラムの評価	助産学	博士	中田 かおり
終了報告	18-A003	予備研究:ラオス国の看護教員が看護学生の分析的思考能力のアセスメントをする際の教育的困難	助産学	博士	橋本 麻由美

5. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、9月、10月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ③ 事務局より、来年度の研究倫理審査委員会 開催日程について連絡があった。
- ④ 事務局より、倫理審査システムの運用変更について説明があった。

6. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2019年1月15日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。